



しあわせおっぱい通信



病院 HP



岐阜県総合医療センター 4階東病棟(産科病棟) Vol.31 2017.秋号

8月5日(土)6日(日)に母乳育児シンポジウムが行われました

母乳育児シンポジウムとは



日本母乳の会と実行委員会、ボランティアスタッフを中心に、1992年から始まり、毎年、世界母乳週間のある8月に開催されています。

日本母乳の会とは、「一人でも多くの母と子に母乳で育てられる幸せを」を目標に活動する医師・助産師・保健師・看護師などの医療関係者とお母さんたちの会です。

日本母乳の会が中心に開催しているこのシンポジウムは、『母乳育児成功のための10ヶ条』が産科施設に根付くことを目的としています。毎年1000人前後の人が参加し、自由に意見を交換する中で、母乳育児が継続できるような支援について話し合いをしています。

今年は、神戸国際展示場で母乳育児シンポジウムが開催され、当院からは新生児科医と助産師が参加しました。

ポスター発表を行いました

4階東病棟(産科病棟)では、助産師と産科医が「臍帯血血糖値と新生児血糖値について」というテーマで研究を行い、赤ちゃんの臍の緒から採れる血液と産まれたばかりの赤ちゃんの血糖値に関係性があることを発表しました。



産科病棟では妊産褥婦さんに協力いただき、充実した母乳育児支援ができるよう様々な研究に取り組んでいます。



発表者の産科医と助産師

